取扱説明書

FALTIMA 010

User Guide

もくじ

はじめに

各部の名前と機能

準備

音楽を聞く

音楽を聞く（つづき）

音楽を録音する

その他の機能

困った時は

アフターサービス

ご使用の前に必ずお読みください

■著作権についてのご注意

他者の著作権または歌唱・演奏の録音物を、私的な目的以外で、著作権者及び他の権利者の許諾を得ずに複製することは、著作権法および国際条約の規定により禁止されています。また、実際に配信が行われているか否かにかかわらず、私的な目的で作成した複製物であっても他者の著作権物または歌唱・演奏の複製物を、著作権者及びその他の権利者の許諾を得ずに、電気通信等の手段で配信が可能な状態にすることは禁止されています。当社は本製品が上記の注意事項を守られず使用された場合、一切の責任を負わないこととします。

■商標について

FALTIMA010(ファルティマ)の名称は、ガイズ株式会社の商標です。Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または商標登録です。その他記載の会社名および製品名は、各社の商標または商標登録です。

■その他

お客様または第三者による本製品の誤使用、使用中に生じた故障、メモリーの消失、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- 本取扱説明書の一部または全部を弊社の許可なく複製することはできません。
- 本取扱説明書に記載されている内容を、製品の機能の改善・改良を目的とし、将来予告なく変更する場合があります。
- 本取扱説明書は万全の注意を払っておりますが、取扱説明書を参考にした操作において損害が生じても責任は負いません。

安全上のご注意　必ずお守りください

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。
本取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で説明しています。その表示と説明は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

絵表示について

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の使用例

この記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容が記載されていることを示します。

この記号は、行為を禁止する内容が記載されていることを示します。

この記号は、行為を強制したり指示する内容が記載されていることを示します。

⚠警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をおやめください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となる場合があります。すぐに電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社ユーザーサポートセンターまでご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ぬらさない

水をかけたり、濡らしたりしないでください。火災・感電の原因となる場合があります。

■分解・改造・修理をしない

分解・改造・修理をしないでください。お客様自身が修理を行わないでください。感電の原因となる場合があります。

⚠警告

■高温に注意

本製品およびリモコンを高温になる場所に設置しないでください。火災・故障・変形の原因となる場合があります。

■内部に金属や燃えやすいものを入れない

内部にヘアピン、コインなどの金属や燃えやすいものを入れないでください。
ショートして火災や感電の原因となる場合があります。

⚠注意

■強く押したり、落下させない

本製品を強く押したり、落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
本製品が破損する場合があります。

■内部温度を上げないようにする

通風口をふさがないようにし、内部温度が著しく高くなる環境で使用しないでください。
また、ディスクを入れたまま高温の環境に放置すると高温によりディスクが変形・損傷する場合があります。

■リモコンの管理について

リモコンを直射日光の当たる場所などに放置しないでください。高温により電池が液漏れする場合があります。また、高温によりリモコンの変形、故障の原因となる場合があります。長時間使わない場合、リモコンの電池は抜いて保管してください。液漏れによる故障の原因となる場合があります。

■濡れた手で操作しない

感電の原因となる場合があります。

■配線上の注意

仕様書指定以外の配線をおこなったり、一カ所のコンセントから電源を取りすぎると火災や火傷の原因となる場合があります。また、電源供給回路が損傷する場合があります。

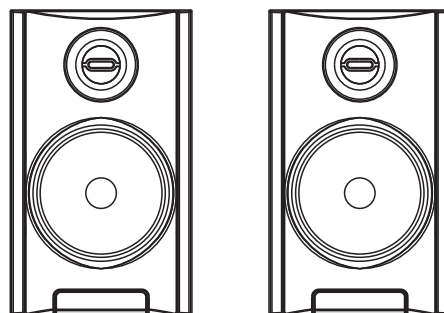
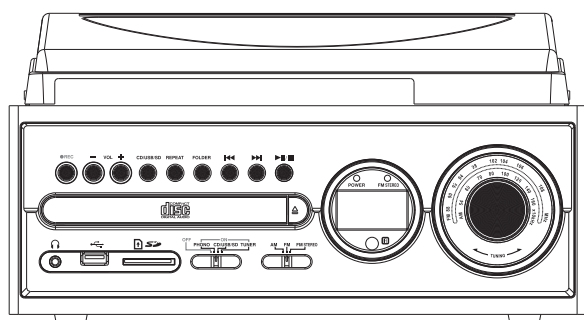
■音量に注意

ヘッドホンをご使用になる場合には、音量を上げすぎないように注意してください。
聴力に悪影響を与える場合があります。電源を切る場合には音量を下げ、次回使用時に大きな音が出ないように注意してください。

本製品は、日本国内専用です。For use in Japan only.

本体及び付属品について

同梱品

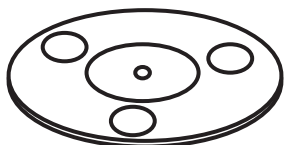
本製品には、以下のような付属品が同梱されています。お使いになる前に、付属品がすべて揃っていることをご確認ください。
万一、付属品の不足や破損がありましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

スピーカー　２台

取替え用レコード針

４５回転レコード用アダプター

リモコン

リモコン用電池

ディスクスタビライザー

ターンテーブルシート

取扱説明書

保証書及びユーザー登録ハガキ

・上記の他に、カタログや注意書きなどが同梱されている場合があります。
　※画像はイメージです。実際の内容と色や形は異なる場合があります。

・外部出力端子が本体の裏側にありますが、RCAケーブルは同梱されておりません。別途お買い求め頂きますようお願い致します。
　※尚、RCAケーブルは当社での取り扱いはございません。

・レコード針の追加購入に関しましては、弊社に直接ご連絡の上、ご注文頂きますようお願い致します。

製品の特徴

FALTIMA010（ファルティマ）製品について

この度は、FALTIMA010（ファルティマ）をお買い求め頂き誠に有難うございます。始めに本製品の特徴及びこの製品でお楽しみ頂ける内容を表記致します。

再生機能（FALTIMA010では次のメディアでの再生ができます。）

・レコードの再生（３３、４５、７８回転対応）
・音楽ＣＤの再生（ＣＤ-ＤＡタイプ）
・データＣＤの再生（ＭＰ３、ＷＭＡファイル対応）
　※ＤＲＭ付きＷＭＡは再生できません。
・マスストレージクラス対応のＵＳＢ機器（ＵＳＢメモリ、デジタルオーディオプレーヤー）内の音楽ファイル（ＭＰ３、ＷＭＡ）の再生
　※ＵＳＢデジタルオーディオプレーヤーの機種によっては認識、再生できない場合があります。
・ＳＤカードの再生（ＭＰ３、ＷＭＡファイル対応）
　※ｍｉｎｉＳＤカードの場合は、アダプタが必要です。
・ＦＭラジオ、ＦＭステレオラジオ
・ＡＭラジオ

録音機能（FALTIMA010では次のメディアへの録音ができます。）

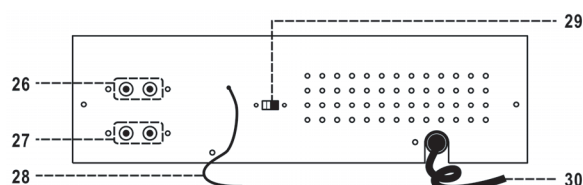
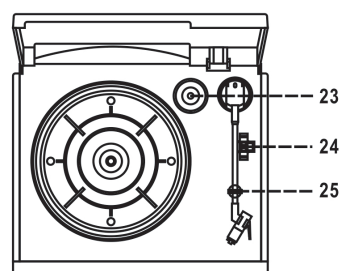
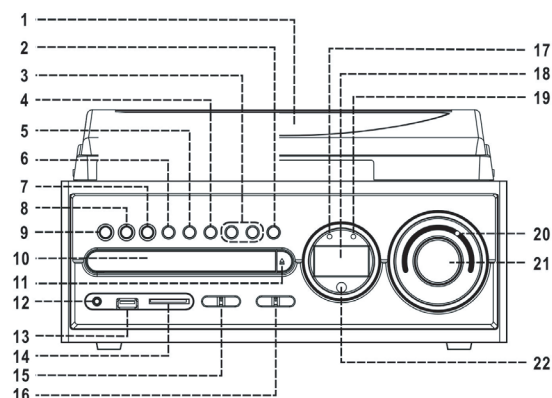
・レコードからマスストレージクラス対応のＵＳＢ機器（ＵＳＢメモリ、デジタルオーディオプレーヤー）への録音
　※ＵＳＢデジタルオーディオプレーヤーの機種によっては認識、録音できない場合があります。
・レコードからＳＤカードへの録音
　※ｍｉｎｉＳＤカードの場合は、アダプタが必要です。
・音楽ＣＤからマスストレージクラス対応のＵＳＢ機器（ＵＳＢメモリ、デジタルオーディオプレーヤー）への録音
　※ＵＳＢデジタルオーディオプレーヤーの機種によっては認識、録音できない場合があります。
・音楽ＣＤからＳＤカードへの録音
　※ｍｉｎｉＳＤカードの場合は、アダプタが必要です。

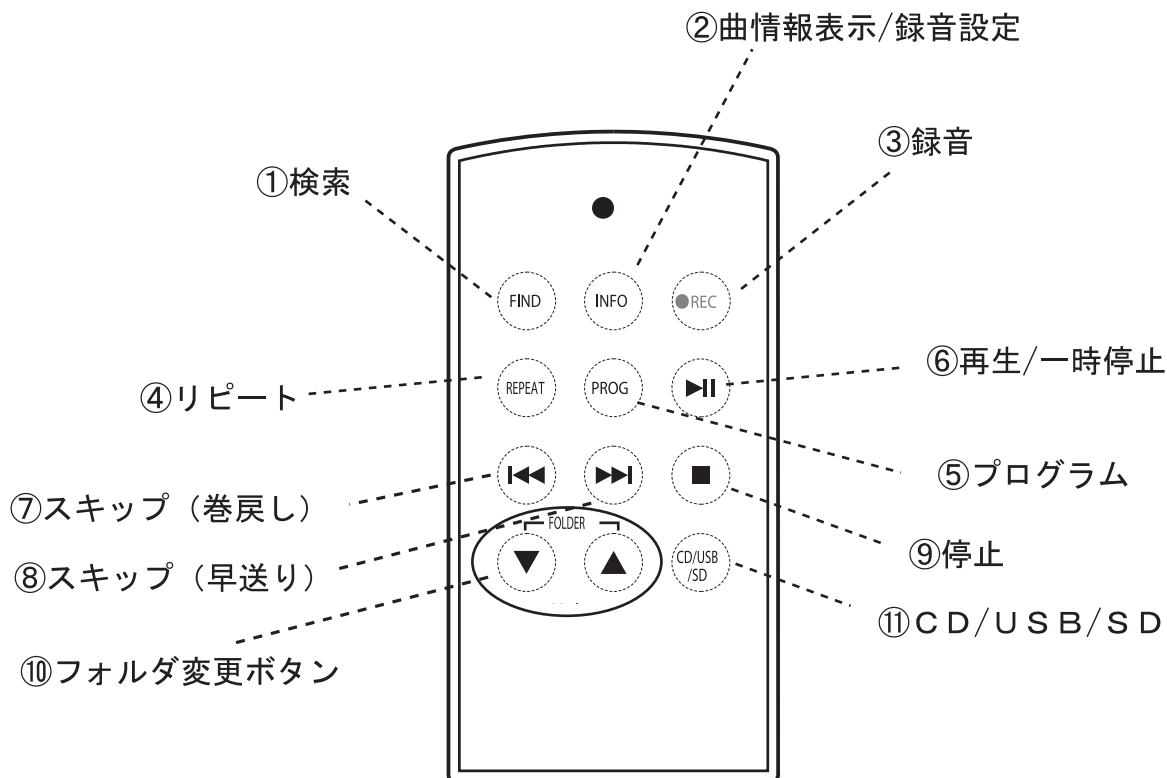
その他の機能

・ＣＤ、ＵＳＢ、ＳＤからＵＳＢ、ＳＤへのＭＰ３、ＷＭＡファイルのコピー機能
　※ＤＲＭ付きＷＭＡはコピーできません。
　※ＵＳＢデジタルオーディオプレーヤーの機種によっては認識、コピーできない場合があります。
・リピート、ランダム再生機能
・プログラム再生機能
・ファイル、フォルダ検索機能
・外部出力機能

各部の名前と機能

本体

1　ダストカバー
2　再生/ 一時停止/ 停止 ボタン
3　スキップボタン（早送り / 巻戻し ）
4　フォルダ変更ボタン
5　リピート/ イントロ/ ランダムボタン
6　ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ 切替ボタン
7　音量ボタン （＋）
8　音量ボタン （－）
9　録音ボタン
10　ＣＤ トレイ
11　ＣＤ トレイ開閉ボタン
12　３.５mmヘッドホンジャック
13　ＵＳＢ ポート
14　ＳＤスロット
15　電源 / セレクター
16　ラジオバンドセレクター
17　電源ランプ
18　ディスプレイ
19　ＦＭステレオランプ
20　チューニング インジケータ
21　チューニング ノブ
22　リモコン受光部
23　４５回転レコード用アダプター
24　レコード回転数切替スイッチ
（ ３３/４５/７８ 回転）
25　アームレスト
26　外部出力端子（左 / 右）
27　スピーカー出力端子（左 / 右）
28　ＦＭ アンテナ
29　レコードプレーヤー自動停止スイッチ
30　ＡＣ コード

各部の名前と機能

リモコン

①検索・・・・・・・・・・・	ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤモード（音楽ＣＤを除く）で、ファイルとフォルダを検索する際に使用します。
②曲情報表示/録音設定 ・・	曲情報表示：ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤモード（音楽ＣＤを除く）の時にこのボタンを押すと曲のタイトルが表示されます。（※パソコンでＣＤを録音した場合のみ） 録音設定：再生停止状態でこのボタンを使用し圧縮ビットレート（録音品質）を選択します。
③録音・・・・・・・・・・・	ＣＤもしくはレコードモードで、録音の際に使用します。
④リピート・・・・・・・・・	ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤモードで、リピート/イントロ/ランダム機能を使用する際に使用します。
⑤プログラム・・・・・・・	ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤモードで、プログラム再生をする際に使用します。
⑥再生/一時停止・・・・・・	ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤモードで、再生/一時停止の際に使用します。
⑦スキップ（巻戻し） ・・・	一回押すと前の曲へ移ります。長押しすると巻戻し再生されます。
⑧スキップ（早送り） ・・・	一回押すと次の曲へ移ります。長押しすると早送り再生されます。
⑨停止・・・・・・・・・・・	ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤモードで、再生を停止する場合、もしくはプログラム再生を中止する場合に使用します。
⑩フォルダ変更ボタン・・・	ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤモード（音楽ＣＤを除く）で、フォルダを変更する場合に使用します。
⑪ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ・・・	ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤモードで、ＣＤ、ＵＳＢ、ＳＤ いずれかを選択します。

準備

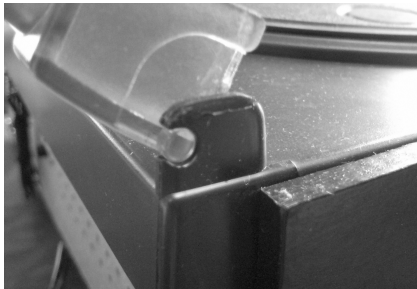
ダストカバーの取り付け

1 本体の設置

本体を水平な広いスペースに置きます。

2 ダストカバーの取り出し

同梱されているダストカバーを取り出します。

3 取り付け１

ダストカバー右突起部を本体右側の受け（穴）に入れます。

4 取り付け２

本体左側、後部の取り付け部品にダストカバーを途中まで差し込みます。

5 取り付け３

途中まで差し込んだ状態の角度保ちながら少し力をいれて手前に引き、左突起部と取り付け部品をはめ込みます。

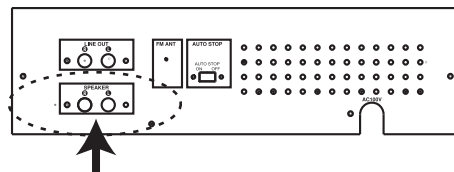
注意！

- ダストカバーを本体に無理に差し込むと、突起部が破損する場合があります。
- 突起部の破損は、本体の使用には問題ありません。
- 一度ダストカバーを取り付けた後は、取り外さないでください。

準備

本体の設置と接続

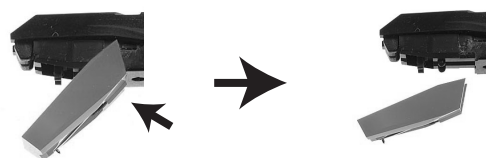
1. 本体を水平な場所に置きます。
2. コンセントに電源コードを接続します。
3. 本体裏面のスピーカー端子にスピーカーコードを接続します。（下図参照）
4. ＦＭアンテナを高いところに取り付けます。
5. 電源/セレクターを動かし、電源を入れます。
6. 電源が供給されると電源ランプが点灯します。

準備

レコード針の交換

1 準備と確認

本体同梱のレコード針を準備し、取り外しするレコード針の取り付け位置を確認します。

2 レコードカートリッジの取り外し１

本体のレコード針下部を押さえつつ、マイナスドライバ等で固定フックを外します。

3 レコードカートリッジの取り外し２

カートリッジの裏面に着いている３本のコードを引き抜きます。

4 レコード針の取り外し方１

矢印部分のツメをドライバ等で外し右写真のようにしてください。

5 レコード針の取り外し方２

矢印を軸とし回転させ取り外してください。

6 交換

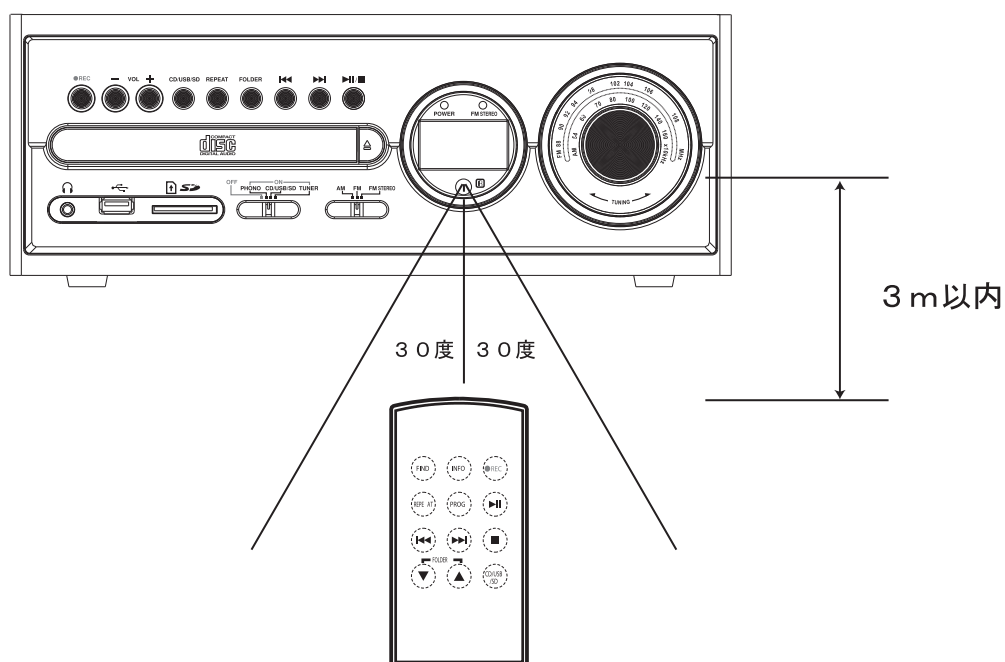
新しい針と交換後、取り外し手順の逆順で、パチンと音がするまではめ込んでください。

ご注意：カートリッジ裏側を確認し[Ｒ＋]にアーム側[赤]、[Ｌ＋]にアーム側[白]、[Ｌ－、Ｒ－]にアーム側[黒]のコードを接続します。

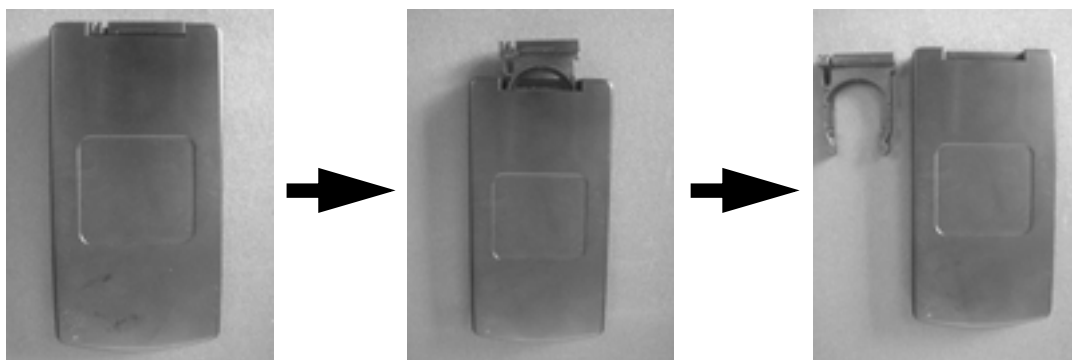
注意！

- レコード針の交換時には、針や工具などでケガをしないよう十分ご注意ください。
- 音が割れたり雑音が多い状態が続く場合はレコード針の交換をお試しください。

準備

リモコンについて

1 リモコン操作

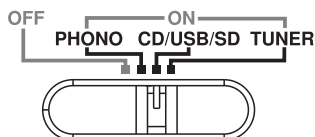
- リモコンを操作するときは、リモコンの先端を本体右下にある受光部に向けてください。
- リモコンを向ける角度は３０度以内で、本体との距離は３ｍ以内で操作してください。
- 受光部に強い光、直射日光などがあたらない場所でご利用ください。
- リモコンの電池が消耗すると、利用可能な距離が短くなったり、操作が鈍くなったりします。その場合は、新しい電池に交換してください。
- 付属の電池は、動作確認用です。

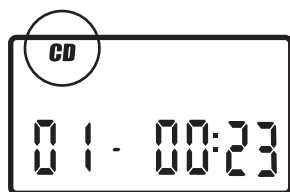
電池の交換方法

１. 本体を裏側からご覧ください。
２. ツメの部分を内側に動かし電池挿入部を引き出します。
３. 電池を設置し、電池挿入部を本体へ「パチッ」っというまで押し込みます。
　※市販されているＣＲ２０３２の型番のボタン電池をお使いください。

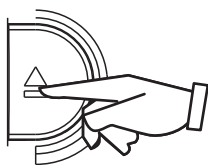
音楽を聞く

本製品は、音楽ＣＤを聞くことができます。

音楽ＣＤ（はじめに）

1 セレクターの確認

電源/セレクターを[ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ]にセットします。

2 モードの確認

ディスプレイの表示が”ＣＤ”になっていることを確認します。

3 ＣＤトレイを開く

[⏏]ボタンを押してトレイを開きます。

4 ＣＤの挿入

音楽ＣＤをトレイに乗せ、[⏏] ボタンを押してトレイを閉めます。

5 曲数と時間表示の確認

音楽ＣＤが入ると自動的に読み込まれ、収録曲数と収録時間がディスプレイに表示されます。

注意！

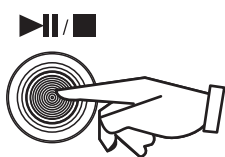
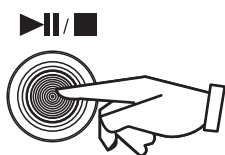
- [COMPACT disc DIGITAL AUDIO]のマークの入ったＣＤをご使用ください。
- 読み込めないＣＤや音楽ＣＤ以外を読みこませないでください。（本機の対象メディアは仕様（Ｐ－４２）参照。）
- 演奏中、近くに置いたテレビに色ズレが生じたり、ラジオに雑音が入る場合は、本機と他の機器との距離を離してください。
- 本機に強い衝撃を与えたり、振動しやすい場所に置くと「音とび」を起こす場合があります。
- 本機では、ＶＤＣ（ビデオ）ＣＣＣＤ（コピーコントロールＣＤ）は使用できません。

音楽を聞く

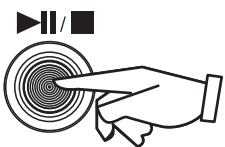
本製品は、音楽ＣＤを聞くことができます。

音楽ＣＤ（再生・一時停止・停止）

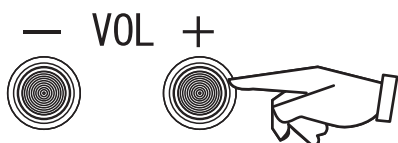
●本体で操作する場合

音楽ＣＤの再生

[▶II/■] ボタンを押すと、最初の曲が再生されます。

音楽ＣＤの一時停止

再生中に[▶II/■] ボタンを押すと、曲が一時停止されます。再度、このボタンを押すと曲が再開されます。

音楽ＣＤの停止

再生中もしくは一時停止中に[▶II/■] ボタンを長押しすると、曲が完全に停止されます。

音量の調整

音量ボタンを長押しすると、音量が調節できます。

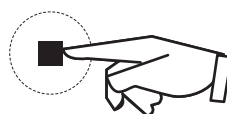
●リモコンで操作する場合

音楽ＣＤの再生

[▶II]ボタンを押すと、最初の曲が再生されます。

音楽ＣＤの一時停止

再生中に[▶II] ボタンを押すと、曲が一時停止されます。再度、このボタンを押すと曲が再開されます。

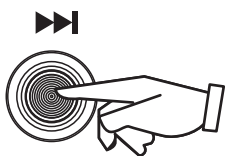
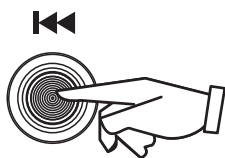
音楽ＣＤの停止

再生中もしくは一時停止中に[■]ボタンを押すと、曲が完全に停止されます。

音楽を聞く

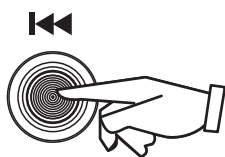
本製品は、音楽ＣＤを聞くことができます。

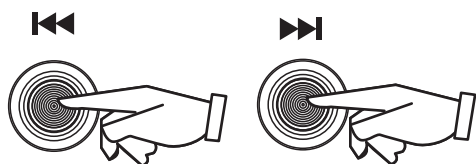
音楽ＣＤ（早送り・巻戻し・スキップ）

●本体で操作する場合

音楽ＣＤのスキップ

再生中もしくは停止状態で[⏭]ボタンを押すと次の曲へ移動します。

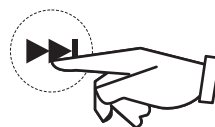
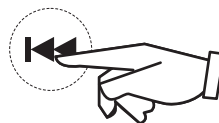
音楽ＣＤの頭出し

再生中もしくは一時停止状態で[⏮]ボタンを押すと曲の最初に戻ります。

音楽ＣＤの前曲戻し

停止中は[⏮]ボタンを１回、再生中、一時停止中は２回押すと前の曲に戻ります。

音楽ＣＤの早送り・巻戻し

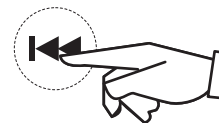
再生中に[⏮ / ⏭]ボタンを長押しすると、早送り・巻戻し再生ができます。
ボタンを離すとそこから通常再生が再開されます。

●リモコンで操作する場合

音楽ＣＤのスキップ

再生中もしくは停止状態で[⏭]ボタンを押すと次の曲へ移動します。

音楽ＣＤの頭出し

再生中もしくは一時停止状態で[⏮]ボタンを押すと曲の最初に戻ります。

音楽ＣＤの前曲戻し

停止中は[⏮]ボタンを１回、再生中、一時停止中は２回押すと前の曲に戻ります。

音楽ＣＤの早送り・巻戻し

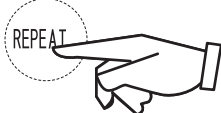
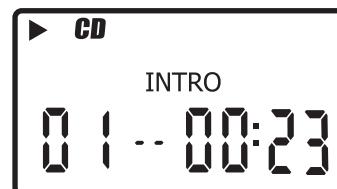
再生中に[⏮ / ⏭]ボタンを長押しすると、早送り・巻戻し再生ができます。
ボタンを離すとそこから通常再生が再開されます。

音楽を聞く

本製品は、音楽ＣＤを聞くことができます。

音楽ＣＤ（リピート・イントロ・ランダム再生）

再生モード変更

REPEAT 【本体ボタン】　【リモコンボタン】

再生中もしくは、再生前に「ＲＥＰＥＡＴ」ボタンを押すと、下記のように順番に再生モードが変更されます。

通常再生

通常の再生モードです。

１曲リピートモード

１曲を繰り返し再生します。

全曲リピートモード

全曲を繰り返し再生します。

イントロ再生モード

曲の先頭１０秒を頭出し再生します。

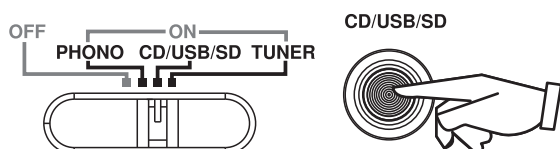
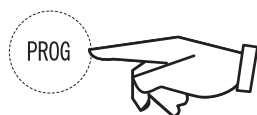
ランダム再生モード

曲順をランダムに入れ替えて再生します。

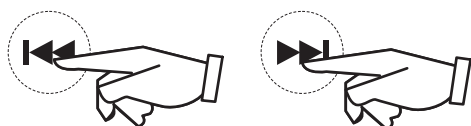
音楽を聞く

本製品は、音楽ＣＤを聞くことができます。

音楽ＣＤ（プログラム再生）

1 準備

電源/セレクターが[ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ]の状態で[ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ]ボタンを押して、ＣＤモードを選び停止状態にします。

2 ナンバー表示

リモコンの［ＰＲＯＧ]ボタンを押すと、”ＰＲＯＧ”ランプがディスプレイに表示され、プログラムナンバーと曲のトラックナンバーが表示されます。

3 曲の選択

スキップボタン[⏮ / ⏭]でお好みの曲を選択します。

4 曲の登録

再度[ＰＲＯＧ]ボタンを押すと曲が登録されます。

5 曲順の決定

３と４を繰り返して曲順を決定します。

6 再生

お好みの曲の登録が完了したら、[▶II]ボタンを押します。登録した順番に再生が始まります。

7 プログラム再生の終了

プログラム再生を中止するには、[■]ボタンを押します。通常の再生に戻る場合は、再度[■]ボタンを押して、ディスプレイの”ＰＲＯＧ”ランプを消します。

注意！

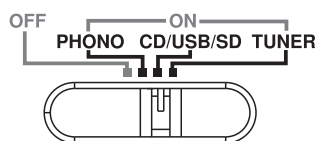
- 同じ曲を続けて登録したい場合、一度[⏮]でトラックナンバー変更後、[⏭]でトラックナンバーを戻して[ＰＲＯＧ]ボタンを押すと登録できます。
- 再編集では、登録曲数を増やしたり、トラックナンバーの変更ができます。しかし登録曲数を減らす場合は一度通常の再生状態に戻り、改めて登録する必要があります。

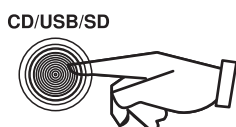
音楽を聞く

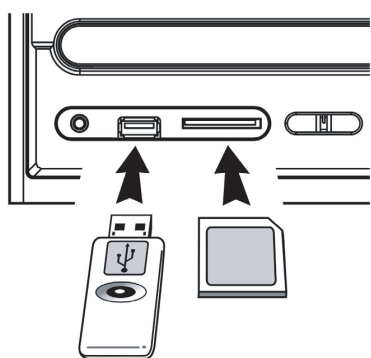
本製品は、ＭＰ３/WMＡファイルを聞くことができます。

ＵＳＢメモリ、ＳＤカード、データＣＤ（はじめに）

本製品は、ＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）及びＳＤカード、データＣＤに保存した音楽（ＭＰ３/WMＡファイル）を聞くことができます。

1 セレクターの確認

電源/セレクターを[ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ]にセットします。

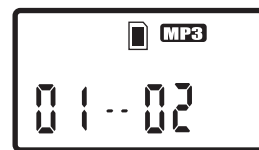
2 再生機器の選択

[ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ]ボタンを押しディスプレイ上の表示を再生したい機器にセットします。（リモコンでも変更できます）

3 再生機器の接続

ＵＳＢメモリ、もしくはＳＤカードを本体に正しく差し込みます。データＣＤの場合は、ＣＤをＣＤトレイに設置してください。

4 表示画面の確認

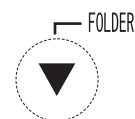
MP3
01 -- 02

ＵＳＢメモリの場合

MP3
01 -- 02

ＳＤカードの場合

ＵＳＢメモリ/ＳＤカード/データＣＤを挿入すると、総フォルダ数(ルートディレクトリ含む、音楽ファイルの存在するフォルダ総数)と総曲数がディスプレイに自動的に表示されます。

5 フォルダ選択

【本体ボタン】

【リモコンボタン】

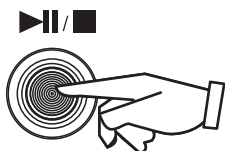
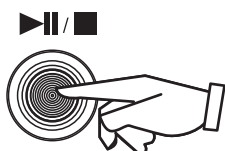
フォルダ変更ボタンを押して、聞きたい曲が入っているフォルダを選択します。

音楽を聞く

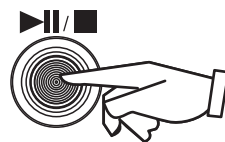
本製品は、ＭＰ３/WMＡファイルを聞くことができます。

ＵＳＢメモリ、ＳＤカード、データＣＤ（再生・一時停止・停止）

●本体で操作する場合

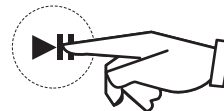
音楽データの再生

[▶II/■]ボタンを押すと、最初の曲が再生されます。

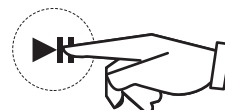
音楽データの一時停止

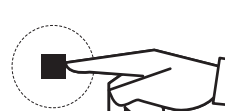
再生中に [▶II/■]ボタンを押すと、曲が一時停止されます。再度、このボタンを押すと曲が再開されます。

音楽データの停止

再生中もしくは一時停止中に[▶II/■]ボタンを長押しすると、曲が完全に停止されます。

●リモコンで操作する場合

音楽データの再生

リモコンの[▶II]ボタンを押すと、最初の曲が再生されます。

音楽データの一時停止

再生中に[▶II]ボタンを押すと、曲が一時停止されます。再度、このボタンを押すと曲が再開されます。

音楽データの停止

再生中もしくは一時停止中にリモコンの[■]ボタンを押すと、曲が完全に停止されます。

注意！

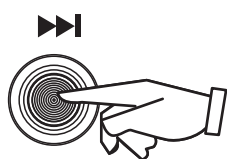
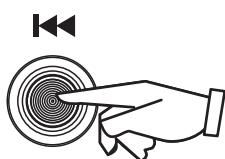
- ＵＳＢメモリ/ＳＤカードを正しく挿入しないと本体にダメージを与える場合があります。
- ＵＳＢメモリ/ＳＤカード内のデータに関してはいかなる保証もできませんのでご了承ください。
- 読み込み可能なファイルはMＰ３/WMＡファイルになります。
- デジタルオーディオプレイヤーによっては、エンコード方法等の違いにより読み込みができない場合があります。
- 音質は録音状態や環境により異なります。
- MＰ３ビットレート（３２Ｋｂｐｓ～２５６Ｋｂｐｓ）、WMＡビットレート（３２Ｋｂｐｓ～３２０Ｋｂｐｓ）、可変ビットレート（ＶＢＲ）でエンコードされたファイルもこの範囲を逸脱した場合には、再生が正常でなくなる場合があります。
- ＤＲM付きWMＡは再生できません。

音楽を聞く

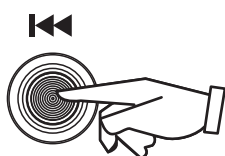
本製品は、ＭＰ３/WMAファイルを聞くことができます。

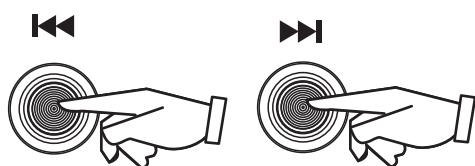
ＵＳＢメモリ、ＳＤカード、データＣＤ
(早送り・巻き戻し・スキップ)

●本体で操作する場合

音楽データのスキップ

再生中もしくは停止状態で[⏭]ボタンを押すと、次の曲へ移動します。

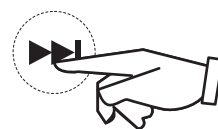
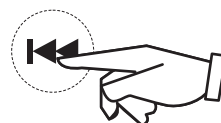
音楽データの頭出し

再生中もしくは一時停止状態で[⏮]ボタンを押すと、曲の最初に戻ります。

音楽データの前曲戻し

停止中は[⏮]ボタンを１回、再生中、一時停止中は２回押すと前の曲に戻ります。

音楽データの早送り・巻戻し

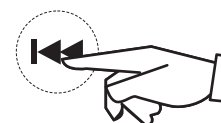
再生中に[⏮ / ⏭] ボタンを長押しすると、早送り・巻戻し再生ができます。ボタンを離すとそこから通常再生が再開されます。

●リモコンで操作する場合

音楽データのスキップ

再生中もしくは停止状態で[⏭]ボタンを押すと、次の曲へ移動します。

音楽データの頭出し

再生中もしくは一時停止状態で[⏮]ボタンを押すと、曲の最初に戻ります。

音楽データの前曲戻し

停止中は[⏮] ボタンを１回、再生中、一時停止中は２回押すと前の曲に戻ります。

音楽データの早送り・巻戻し

再生中に[⏮ / ⏭] ボタンを長押しすると、早送り・巻戻し再生ができます。ボタンを離すとそこから通常再生が再開されます。

音楽を聞く

本製品は、ＭＰ３/WMＡファイルを聞くことができます。

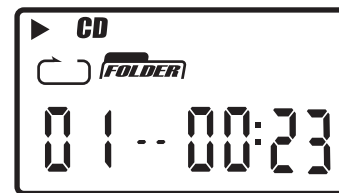
ＵＳＢメモリ、ＳＤカード、データＣＤ（リピート・イントロ・ランダム再生）

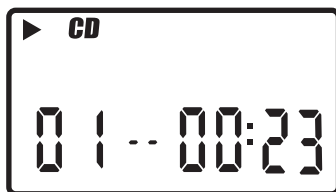
リピート機能

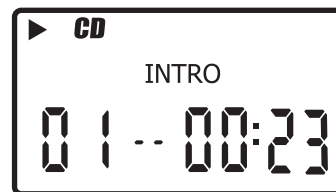
REPEAT【本体ボタン】

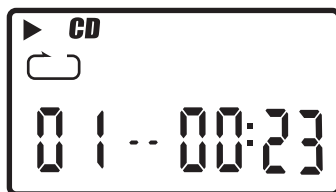
【リモコンボタン】

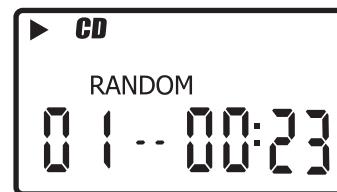
再生中もしくは、再生前に［ＲＥＰＥＡＴ］ボタンを押すと、下記のような順番で再生モードが変更されます。

フォルダ内リピートモード

フォルダ内の曲を繰り返し再生します。

再生モード

通常の再生モードです。

イントロ再生モード

曲の先頭１０秒を頭だし再生します。

１曲リピート

１曲を繰り返し再生します。

ランダム再生モード

曲順をランダムに入れ替えて再生します。

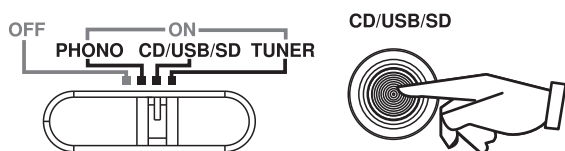
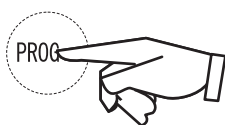
全曲リピート

全曲を繰り返し再生します。

音楽を聞く

本製品は、ＭＰ３/WＭＡファイルを聞くことができます。

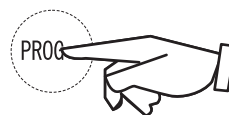
ＵＳＢメモリ、ＳＤカード、データＣＤ（プログラム再生）

1 準備

電源/セレクターが[ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ]の状態で[ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ]ボタンを押して、ＣＤ、ＵＳＢまたはＳＤモードを選び停止状態にします。

2 ナンバー表示

リモコンの［ＰＲＯＧ]ボタンを押すと、”ＰＲＯＧ”ランプがディスプレイに表示され、プログラムナンバーと曲のトラックナンバーが表示されます。

3 曲の選択

スキップボタン[⏮/ ⏭]でお好みの曲を選択します。

4 曲の登録

再度[ＰＲＯＧ]ボタンを押すと曲が登録されます。

5 曲順の決定

３と４を繰り返して曲順を決定してください。

6 再生

お好みの曲の登録が完了したら、[▶II]ボタンを押します。登録した順番に再生が始まります。

7 プログラム再生の終了

プログラム再生を終了するには、[■]ボタンを押します。通常の再生に戻る場合は、再度[■]ボタンを押して、ディスプレイの”ＰＲＯＧ”ランプを消します。

注意！

- 同じ曲を続けて登録したい場合、一度スキップボタン［ ⏮］でトラックナンバー変更後、［ ⏭ ］でトラックナンバーを戻して[ＰＲＯＧ]ボタンを押すと登録できます。
- 再編集は、登録曲数を増やしたり・トラックナンバーの変更はできます。しかし登録曲数を減らす場合は一度通常の再生状態に戻り、改めて登録する必要があります。

音楽を聞く

ＵＳＢメモリ、ＳＤカード、データＣＤ（曲情報表示機能）

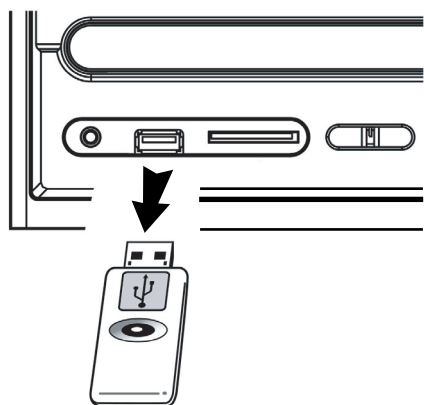
ＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）、ＳＤカード、データＣＤに曲情報が入っている場合、再生中にリモコンの［ＩＮＦＯ］ボタンを押すと、ディスプレイに曲のタイトルが表示されます。再度［ＩＮＦＯ］ボタンを押すと、曲ナンバーと再生時間の表示に戻ります。

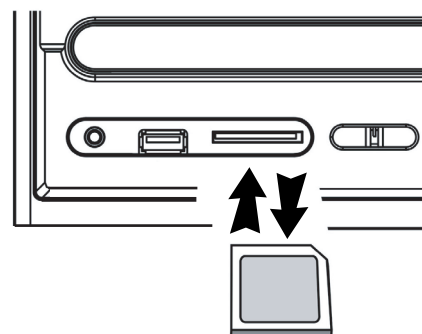
注意！

- 曲名が無い場合、“ＮＯＮＥ”もしくは“ＵＮＫＮＯＷＮ”と表示されます。
- フォルダ名および曲名の表示は「ひらがな」「漢字」には対応しておりません。
  ファイル名が半角英数のフォルダ及び音楽ファイルのみ正常に表示されます。

ＵＳＢ機器及びＳＤカードの取り外し方

ＵＳＢメモリ及びＳＤカードを本体から取り外す時は、本体の電源を切るか、モードをＣＤ、ＰＨＯＮＯ、ＴＵＮＥＲのいずれかに変更してから行ってください。

ＵＳＢメモリの取り外し

ＵＳＢメモリはそのまま引き抜きます。

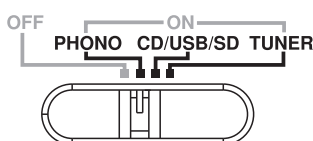
ＳＤカードの取り外し

一度押し込むと半分ほどカードが出てきますので、それから引き抜きます。

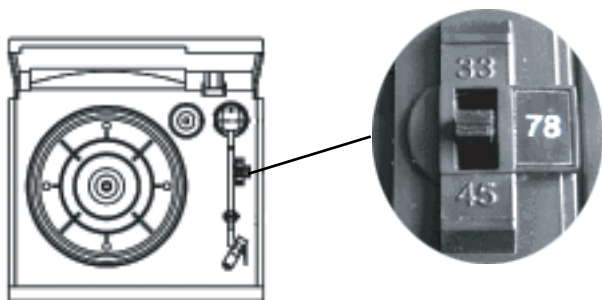
音楽を聞く

レコードを聞く（はじめに）

本製品は、３３/４５/７８回転/分のレコードを再生することができます。
４５回転のレコードを使用する場合は、４５回転レコード用アダプターをご使用ください。

ご使用前に
- ○ 使用時は針を保護しているプラスチックカバーを取り外してください。
- ○ アームレストにある固定フックを開いた状態でダストカバーを閉めると、フックが破損する恐れがあります。ダストカバーを閉める前には、必ずフックを戻した状態にしてください。
- ○ レコードの種類によっては自動停止エリアが異なり、最終曲の途中で停止する場合があります。その場合、本体背面の[レコードプレーヤー自動停止スイッチ]をＯＦＦにすると停止しなくなりますが曲が終了しても回り続けます。再度スイッチをＯＮにして停止させるか、電源をＯＦＦにして停止させてください。
- ○ ディスクスタビライザーはレコードの回転を安定させる為の重りですので使用をお勧めします。

1 セレクターの確認

電源/セレクターを［ＰＨＯＮＯ］にセットします。

2 回転スピードの設定

レコードの演奏スピードに合わせて[レコード回転数切替スイッチ]を設定します。

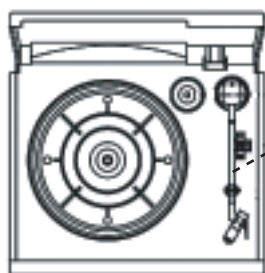
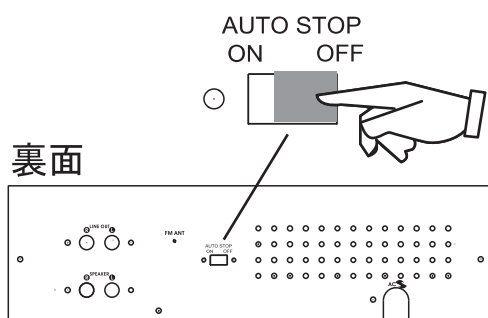
3 レコードのセット

レコードをターンテーブルにセットします。

4 ディスクスタビライザーのセット

付属のディスクスタビライザーをレコードの上にセットします。

レコードを聞く（再生・停止）

1 起動

トーンアームをゆっくりレコードに近づけると、自動的にターンテーブルが回転し始めます（レコードプレーヤー自動停止スイッチがＯＮの場合）。

2 レコード再生の開始

トーンアームをレコードのお聞きになりたい位置に静かに下ろします。レコードの再生が開始されます。

3 自動停止

自動停止スイッチがＯＮの場合、再生が終了するとターンテーブルの回転が止まります。その後トーンアームをアームレストへ戻します。

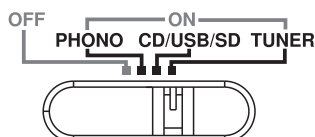
4 手動停止

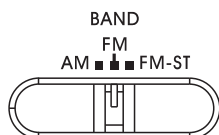
途中でレコード再生を停止する場合は、トーンアームを静かに持ち上げてアームレストへ戻します。

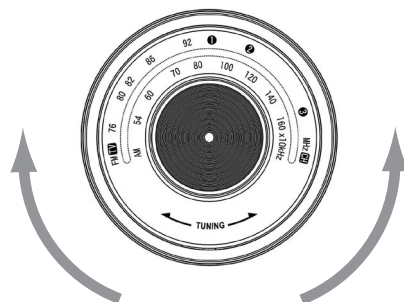
音楽を聞く

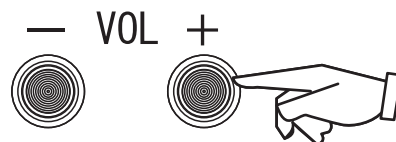
ラジオを聞く

本製品は、ＡＭ、ＦＭ、ＦＭステレオ放送を聞くことができます。

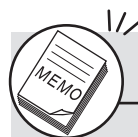
1 セレクターの確認

電源/セレクターを[ＴＵＮＥＲ]にセットします。

2 ＡＭ・ＦＭの選択

ラジオバンドセレクターをＡＭ・ＦＭ・ＦＭステレオから選択します。

3 選局

チューニングノブを回し、お好みのラジオ局を選択します。

4 ボリュームを調節

ボリュームを調節してラジオをお楽しみください。

注意！

- ＦＭステレオ受信でノイズが多い場合は、ラジオバンドをＦＭ（モノラル）にするとノイズが軽減されます。
- ラジオからＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）、ＳＤカードへの録音はできません。
- 受信感度が悪い場合には、ＦＭアンテナの位置を調節してください。
- 受信感度を良くする為に、ＦＭアンテナを伸ばして室内の壁に貼り付けてください。

ひとことメモ

- ステレオ放送を受信すると、ＦＭステレオランプが点灯します。

音楽を録音する

本製品は音楽ＣＤやレコードの曲をＭＰ３ファイルに変換し、本製品に接続された、ＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）やＳＤカード、に録音（エンコード）することができます。
本項目ではＣＤからＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）への録音を解説します。
なお、ＳＤカードへも同様の方法で録音できます。

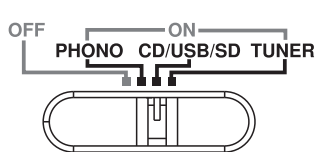
音楽ＣＤからの録音（録音音質の設定）

音楽ＣＤ、レコードからＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）、ＳＤカードに録音する際、録音の音質を変更できます。下記の圧縮ビットレートを選択できます。
本項目ではＣＤの録音音質の設定を解説します。レコードも同様の方法で録音できます。

32Kbps / 64Kbps / 96Kbps / 128Kbps / 192Kbps / 256Kbps

音質は悪いが
容量は少なくなるので
保存曲数が多くなる。

音質は良いが
容量は大きくなるので
保存曲数が少なくなる。

1 セレクターの確認

電源/セレクターが［ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ］の状態で［ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ］ボタンを押して、ＣＤモードになっていることを確認してください。

2 音質の設定１

リモコンの［ＩＮＦＯ］ボタンを押すと、ディスプレイに、１２８Ｋｂｐｓ（初期設定）が表示されます。

3 音質の設定 ２

スキップボタン［⏮ / ⏭］を押すとお好みの圧縮ビットレートが選択できます。

4 決定

再度、［ＩＮＦＯ］ボタンを押して決定します。

注意！

- データＣＤは、録音ではなくコピーになりますので音質設定はできません。
- 電源を切ると設定は初期化（１２８Ｋｂｐｓ）されます。

音楽を録音する

音楽ＣＤからの録音（１曲のみのを録音する場合）

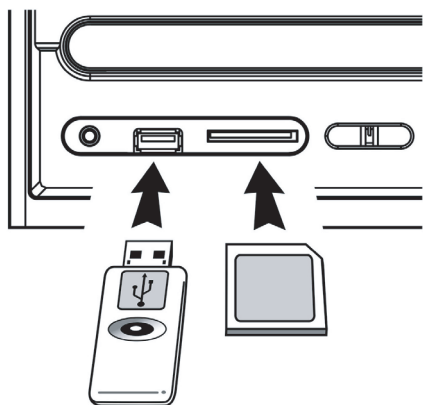
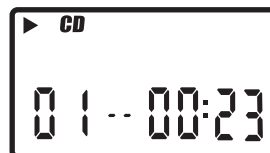
1 セレクターの確認

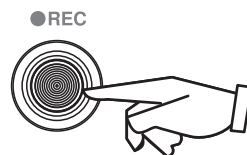
電源/セレクターが[ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ]の状態で[ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ] ボタンを押し、ＣＤモードになっていることを確認します。

2 ＵＳＢメモリの接続

ＵＳＢメモリもしくはＳＤカードを本体に正しく差し込みます。

3 再生

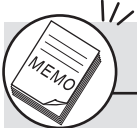
01 -- 00:23

音楽ＣＤをＣＤトレイにのせます。スキップボタン［ ⏮／⏭ ］で録音したい曲に変更し、再生します。

4 録音ボタンを押す

録音したい曲の部分で[ＲＥＣ]ボタンを押します。ディスプレイには[USB または SD], [REC]が表示され録音が開始します。

5 停止

録音が終了すると自動的に再生と録音が停止します。

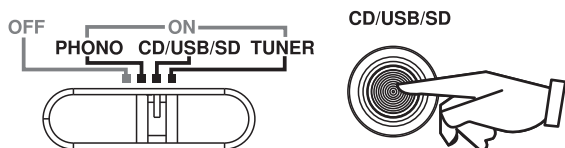
注意！

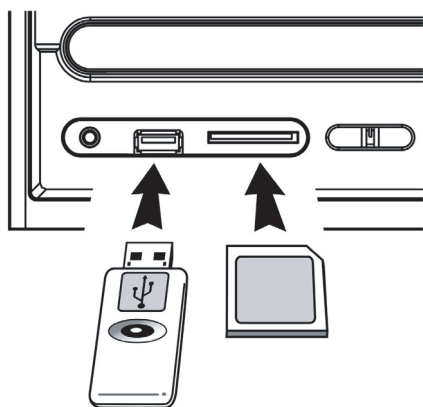
- ＳＤカードに録音しようとした際に”ＥＲＲＯＲ”と表示される場合は、ＳＤカード誤消去防止スイッチ（ライトプロテクトタブ）がＯＮ（ＬＯＣＫ側）になってる事が考えられます。一旦ＳＤカードを外してご確認ください。
- 録音中にＳＤカード又はＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）の空き容量が不足すると、ディスプレイに”ＦＵＬＬ”と表示され、録音が中断されます。この場合、ＳＤカード、ＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）の不必要なファイルを削除して空き容量を確保いただくか、空き容量が十分にある別のＳＤカード又はＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）を用意ください。

ひとことメモ

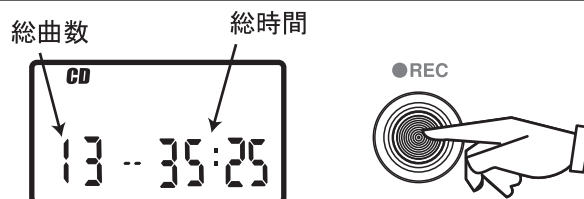
- 演奏の途中から録音開始しても１曲分全てが録音されます。

音楽を録音する

音楽ＣＤからの録音（全曲録音する場合）

1 セレクターの確認

電源/セレクターが［ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ］の状態で[ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ]ボタンを押して、ＣＤモードになっていることを確認します。

2 ＵＳＢメモリの接続

ＵＳＢメモリもしくはＳＤカードをを本体に正しく差し込みます。

3 録音ボタンを押す

音楽ＣＤをＣＤトレイに乗せます。ＣＤの自動読込が終了したら（ディスプレイに曲数が表示されている状態）［ＲＥＣ]ボタンを押します。この場合、再生ボタンを押す必要はありません。

4 録音表示

ディスプレイには[　または　]、[REC]が表示され録音が開始されます。

5 停止

録音が終了すると自動的に再生と録音が停止します。

注意！

- 録音ファイル形式はＭＰ３のみです。（ＷＭＡでの録音はできません）
- 録音スピードは、１：１です。実際の再生時間と同じです。
- 録音の際は、自動的に[ＡＵＤＩＯ]というフォルダが作成され、その中に音楽が保存されます。
- ファイル名は[AUDIO000.mp3]～[AUDIO999.mp3]まで保存できます。[AUDIO1000.mp3]以上には対応していません。
- 録音時の圧縮ビットレート(初期設定)は１２８Ｋｂｐｓ、サンプリングレートは４４.1Ｋｈｚになります。
- 録音の際、曲名は記録されません。
- 途中で録音を終了する際は、再度[ＲＥＣ]ボタンを押してください。
- 録音を途中で止めると、既に録音が完了していた曲も無効となる場合があります。
- ＵＳＢポート及びＳＤポート両方にメモリが装着されている場合、ＵＳＢポートが優先されますが、スキップボタンでどちらかを選択することもできます。
- ＭＰ３プレーヤー機器の中で、コンピューター上で専用ソフトを使用しファイル管理するものに関しては、本機器での録音後のＭＰ３プレーヤー機器単体では再生できない場合があります。

音楽を録音する

本製品は音楽ＣＤやレコードの曲をＭＰ３ファイルに変換し、本製品に接続された、ＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）やＳＤカード、に録音（エンコード）することができます。
本項目ではレコードからＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）への録音を解説します。
なお、ＳＤカードへも同様の方法で録音できます。

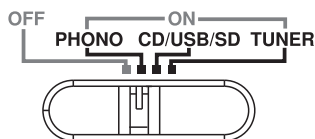
レコードからの録音（録音音質の設定）

音楽ＣＤ、レコードからＵＳＢメモリ(デジタルオーディオプレーヤー)、ＳＤカードに録音する際、録音の音質を変更できます。下記の圧縮ビットレートを選択できます。
本項目ではレコードの録音音質の設定を解説します。音楽ＣＤも同様の方法で録音できます。

32Kbps / 64Kbps / 96Kbps / 128Kbps / 192Kbps / 256Kbps

音質は悪くなるが
容量は少なくなるので
保存曲数が多くなる。

音質は良いが
容量は大きくなるので
保存曲数が少なくなる。

1 セレクターの確認

電源／セレクターを[ＰＨＯＮＯ]にセットします。

2 モード確認

ディスプレイを見て″ＰＨＯＮＯ″であることを確認します。

3 音質の設定 1

リモコンの[ＩＮＦＯ]ボタンを押すと、ディスプレイに、１２８Ｋｂｐｓ（初期設定）が表示されます。

4 音質の設定 2

スキップボタン[⏮ / ⏭] を押すとお好みの圧縮ビットレートが選択できます。

5 決定

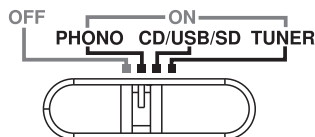
再度、[ＩＮＦＯ]ボタンを押して決定します。

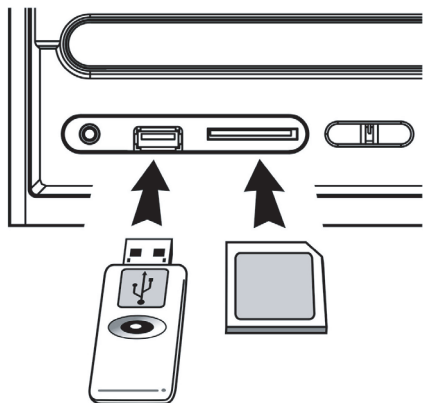
注意！

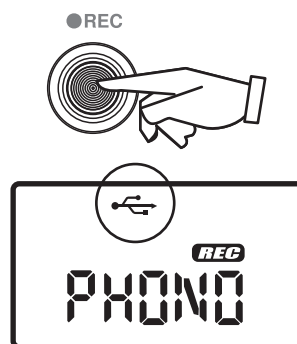
● 電源を切ると設定は初期化（１２８Ｋｂｐｓ）されます。

音楽を録音する

レコードからの録音（録音方法）

1 セレクターの確認

電源/セレクターを［ＰＨＯＮＯ］にし、
レコードをターンテーブルにセットします。

2 ＵＳＢメモリの接続

ＵＳＢメモリもしくはＳＤカードを本体に
正しく差し込みます。

3 録音の開始

［ＲＥＣ］ボタンを押すとディスプレイに［ＵＳＢ］と表示されます（ＵＳＢメモリの場合）。再度［ＲＥＣ］ボタンを押すと”REC”マークが点灯します。次に”REC”マークが点滅し始めた事を確認しレコードを再生します。同時に録音が始まります。

※表示が１０回点滅すると自動的に録音が開始されます。

4 停止

録音を停止する場合は、再度［ＲＥＣ］ボタンを押してください。

注意！

- １７㎝レコードで内周付近まで溝が刻まれている場合は、録音途中で再生が自動停止する場合がありますので、自動停止スイッチをＯＦＦにすることをお勧めします。その場合、ＰＨＯＮＯモードにすると自動的にターンテーブルが回ります。
- 曲が終わったら、手動で録音を停止する必要があります。

ひとことポイント

- ＵＳＢメモリとＳＤカードが両方接続されている場合、［スキップ］ボタンで録音したい機器を変更してください。点滅している機器が有効です。
  また、表示が１０回点滅すると点滅していた機器に自動的に録音が開始されます。
- 録音途中で録音先の容量が不足した場合は”ＦＵＬＬ”と表示され、その時点までの録音が保存されます。

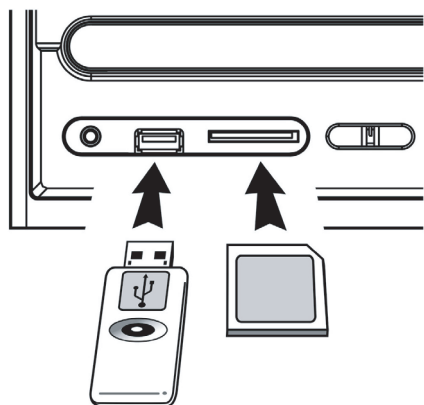
その他の機能

音楽ファイルのコピー（１曲単位でコピーする場合）

本製品は音楽ファイルのコピーができます。
・ＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）からＳＤカード
・ＳＤカードからＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）
・データＣＤからＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）またはＳＤカード

1 再生の準備

コピー元機器の再生準備をします。
Ｐ１７．ＵＳＢメモリ、ＳＤカード、データＣＤ（はじめに）を参照してください。

2 コピー先機器の接続

ＵＳＢメモリ、もしくはＳＤカードを本体に正しく差し込みます。

3 再生の開始

コピー元機器でコピーしたいファイルの再生を始めます。

4 コピーの開始

再生が始まったら、［ＲＥＣ］ボタンを押します。曲の再生が停止し、ファイルのコピーが始まります。

5 コピーの完了

″ＦＣＯＰＹ″というフォルダが生成され、その中にファイルがコピーされます。
コピーが終了すると自動的に停止します。

注意！

- コピー先機器の容量が不足した場合、「ＦＵＬＬ」と表示されて録音が開始されません。
- ファイルのコピー途中で、容量が不足した場合途中までしかコピーされません。
- コピーという動作になりますので、ファイル形式・録音音質の変更はできません。
- デジタルオーディオプレイヤーによっては、エンコード方法等の違いにより読み込みができないものもあります。
- データＣＤからのコピー時ＵＳＢポート及びＳＤポート両方にメモリが装着されている場合、ＵＳＢポートが優先されますがスキップボタンでどちらかを選択することもできます。
- ＵＳＢで接続されたデジタルオーディオプレーヤー機器の中で、コンピュータ上で専用ソフトを使用しファイル管理するものに関しては、本商品でコピー後デジタルオーディオプレーヤー機器単体では再生できない場合があります。

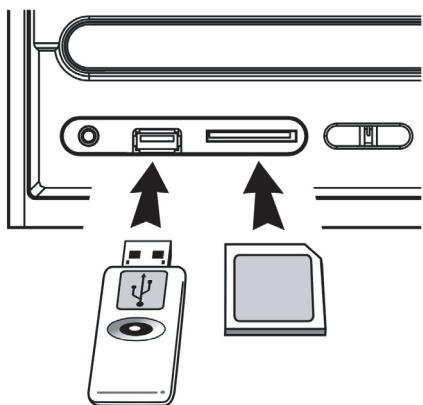
その他の機能

音楽ファイルのコピー（全曲コピーする場合）

本製品は音楽ファイルのコピーができます。
・ＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）からＳＤカード
・ＳＤカードからＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）
・データＣＤからＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）またはＳＤカード

1 再生の準備

コピー元機器の再生準備をします。
Ｐ１７．ＵＳＢメモリ、ＳＤカード、データＣＤ（はじめに）を参照してください。

2 コピー先機器の接続

ＵＳＢメモリ、もしくはＳＤカードを本体に正しく差し込みます。

3 コピーの開始

［ＲＥＣ］ボタンを押すと、１曲目からコピーが開始されます。

4 コピーの完了

″ＦＣＯＰＹ″というフォルダが生成され、その中にファイルがコピーされます。
全曲のコピーが終了すると自動的に停止します。

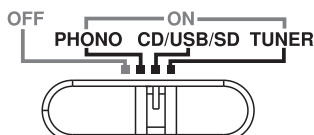
注意！

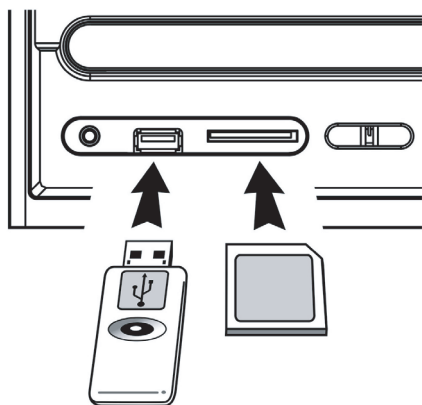
- コピー先機器の容量が不足した場合、「ＦＵＬＬ」と表示されて録音が開始されません。
- ファイルのコピー途中で、容量が不足した場合途中までしかコピーされません。
- コピーという動作になりますので、ファイル形式・録音音質の変更はできません。
- デジタルオーディオプレイヤーによっては、エンコード方法等の違いにより読み込みができない場合があります。
- データＣＤからのコピー時ＵＳＢポート及びＳＤポート両方にメモリが装着されている場合、ＵＳＢポートが優先されますがスキップボタンでどちらかを選択することもできます。
- ＵＳＢで接続されたデジタルオーディオプレーヤー機器の中で、コンピュータ上で専用ソフトを使用しファイル管理するものに関しては、本商品でコピー後デジタルオーディオプレーヤー機器単体では再生できない場合があります。

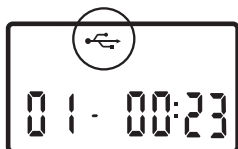
その他の機能

音楽ファイルの削除（１曲単位で削除する場合）

本製品は、ＵＳＢメモリ、ＳＤカードの音楽ファイル（ＭＰ３、ＷＭＡファイル）を１曲単位で削除することができます。

1 セレクターの確認

電源/セレクターを［ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ］にセットします。

2 ＵＳＢメモリの接続

削除したい曲の保存されているＵＳＢメモリ、ＳＤカードを本体に正しく差し込みます。

3 モードの確認

削除したい曲の保存されている機器がディスプレイに表示されていない場合は［ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ］ボタンで切り替えます。

4 トラック番号の表示

リモコンの［ＩＮＦＯ］ボタンを長押しするとディスプレイに″ＤＥＬ−００１″等（トラック番号）が表示されます。

5 ファイルの選択

［⏮ /⏭ ］で削除したいファイルを選択します。

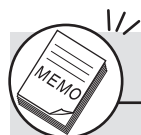
6 確認

［ＲＥＣ］ボタンを押すとディスプレイに［Ｎ］が点滅表示されます。（ＮはＮＯの略です。）

7 確認変更

［⏮ /⏭ ］を一度押すと、［Ｙ］が点滅状態になります。（ＹはＹＥＳの略です。）

8 削除

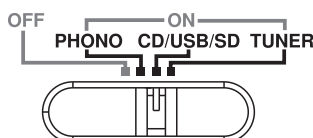
［ＲＥＣ］ボタンを押すとファイルを削除します。表示ファイルを削除したくない場合は、［スキップ］ボタンで［Ｎ］を点滅状態にして、［ＲＥＣ］ボタンを押します。

ひとことメモ

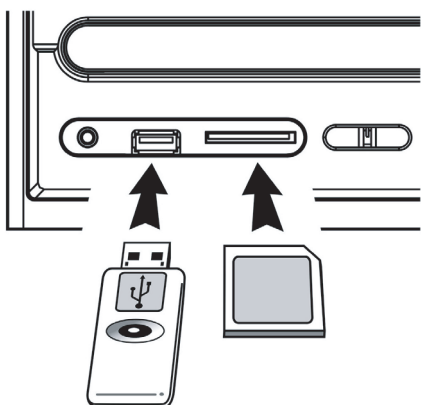
● ［DEL−００1］等の表示状態で［ＩＮＦＯ］ボタンを押すとファイル名が表示されます。

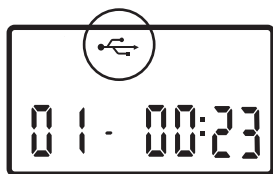
その他の機能

音楽ファイルの削除（全曲削除する場合）

本製品は、ＵＳＢメモリ、ＳＤカード中の音楽ファイル（ＭＰ３、WMAファイル）を全ての曲を一括削除することができます。

1 セレクターの確認

電源/セレクターを［ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ］にセットします。

2 ＵＳＢメモリの接続

ＵＳＢメモリを本体に正しく差し込みます。（ＳＤカードも同様に操作します。）

3 モードの確認

削除したい機器がディスプレイに表示されていない場合は［ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ］ボタンで切り替えます。

4 トラック番号の表示

リモコンの［ＩＮＦＯ］ボタンを長押しするとディスプレイに"ＤＥＬ-００１"等（トラック番号）が表示されます。

5 確認

もう一度［ＩＮＦＯ］ボタンを長押しすると、ディスプレイに［ＦＯＲＭＡＴ？　Ｎ］と表示されます。（ＮはＮＯの略です。）

6 確認変更

［⏮ / ⏭］を一度押すと、［Ｙ］が点滅状態になります。（ＹはＹＥＳの略です。）

7 削除

［ＲＥＣ］ボタンを押すと全てのファイルを削除します。全曲削除したくない場合は、［スキップ］ボタンで［Ｎ］を点滅状態にして、［ＲＥＣ］ボタンを押します。

注意！

● 全曲削除操作は、対象機器がフォーマット（初期化）され、音楽ファイル以外も全て削除されますので、ご注意ください。

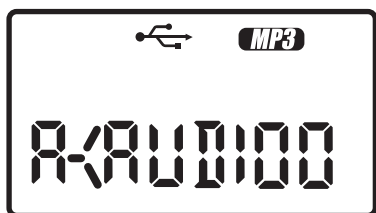
その他の機能

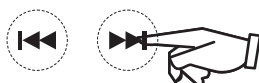
ファイルの検索機能

本製品は、ＵＳＢメモリ、ＳＤカード、データＣＤ中の音楽ファイル（ＭＰ３、ＷＭＡファイル）をファイル名で検索する事が可能です。

1　準備

ＵＳＢメモリ、ＳＤカード、データＣＤいずれかがセットされていることを確認しリモコンの［ＦＩＮＤ］ボタンを一度押します。

2　表示画面

ディスプレイが図のように表示されます。

3　選択する

検索したいファイルの先頭の文字と、表示されている文字と合致するまで［⏮　⏭］ボタンで移動します。

4　表示画面

検索したファイルの先頭文字と表示されている文字が合致したところで、リモコンの［ＳＴＯＰ］ボタンを押すと、図の←部分の表示が逆になります。その状態で［⏮ ⏭］ボタンを押す度に、先頭文字の同一ファイルが順番に表示されます。（曲番号表示で数字の小さいものから順に表示されます。ファイル名順ではありません。）

5　変更する場合

再度リモコンの［ ■　 ］ボタンを押すことで、検索したい先頭文字の変更を行う手順（手順２、３）へ戻ることができます。

6　再生

再生したい曲が見つかりましたら、［ ▶II ］ボタンを押して再生を開始します。

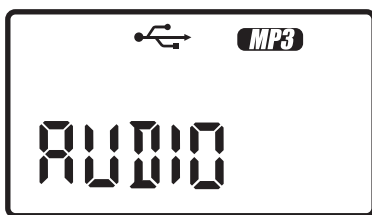
その他の機能

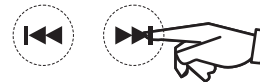
フォルダの検索機能

本製品は、ＵＳＢメモリ、ＳＤカード、データＣＤ中の音楽が格納されているフォルダを検索する事ができます。

1 準備

ＵＳＢメモリ、ＳＤカード、データＣＤいずれかがセットされていることを確認しリモコンの[ＦＩＮＤ]ボタンを２度押します。

2 表示画面

ディスプレイにフォルダ名が表示されます。

3 選択する

[⏮ ⏭]ボタンを押すことでフォルダ名が切り替わります。

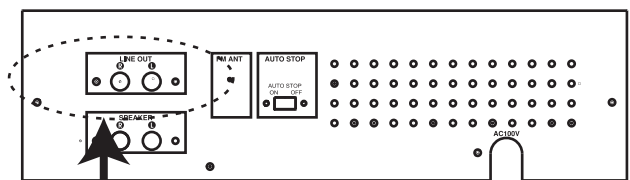
4 再生

フォルダが見つかりましたら、[▶II]ボタンを押して再生を開始します。

注意！

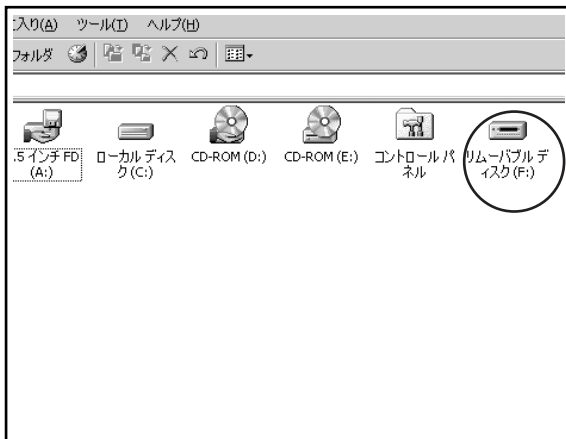
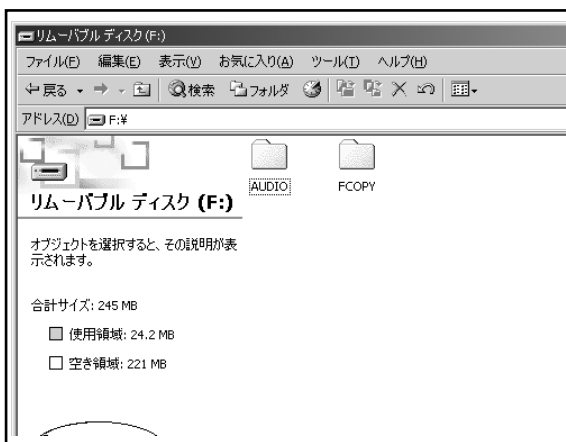
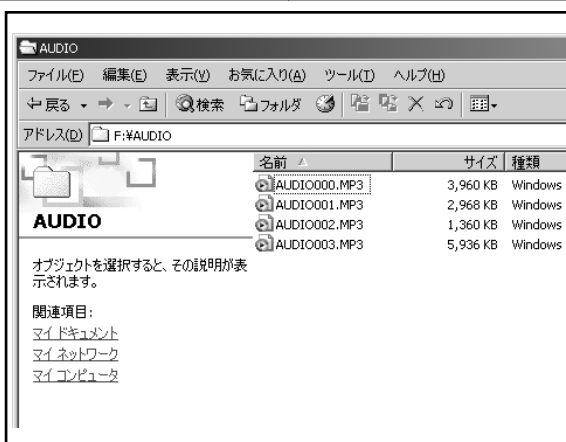
- フォルダ名の表示は、「ひらがな」「漢字」に対応しておりません。半角英数のフォルダ名のみ正常に表示されます。
- 漢字等のフォルダ名の場合は、［ＵＮＫＮＯＷＮ］と表示されます。

外部出力機能

本体裏側の外部出力端子と他のオーディオ機器を接続し、音楽を楽しむ事ができます。
また、オーディオ機器側の接続及び操作はオーディオ機器に付属の取扱説明書の外部入力に関する項目等を参照、或いはオーディオ機器メーカーにお問い合わせ下さい。

外部出力端子

その他の機能

録音後コンピュータでの表示

本製品で録音されたデータが、コンピュータでどのように認識されるかをご説明致します。
また、コンピュータ機器側で音楽データの削除ができます。データ/ファイル操作に関しては、お使いのコンピュータのマニュアルをご参照下さい。尚、ご説明はWindowsXPを基本にしています。

ＵＳＢメモリ（デジタルオーディオプレーヤー）及びＳＤカードをコンピュータに正しく差し込みます。次に、マイコンピュータを開きますとリムーバブルディスクというドライブが出てきます。（お客様の環境により（Ｆ）ドライブではない場合もあります。）
そのリムーバブルディスクをダブルクリックします。

ファイルを開きますと本機器で録音及びコピーされたフォルダが表示されます。
ＡＵＤＩＯ：録音されたデータの保存場所
ＦＣＯＰＹ：コピーされたデータの保存場所

ＡＵＤＩＯフォルダを開きますと左のように表示されます。録音された音楽データが保存されています。

困った時は

基本動作

症状	確認
電源が入らない	●コンセントが抜けていませんか？⇒１０ページ
音が出ない	●音量が小さくなりすぎていませんか？⇒１３ページ ●スピーカーコードが本体に接続されていますか？⇒１０ページ ●電源/セレクターのモードは適切ですか？⇒１０ページ
リモコンでの操作が利かない	●リモコンの電池は切れていませんか？⇒１１ページ ●本体との距離が離れすぎていませんか？⇒１１ページ ●リモコン受光部が遮られていませんか？⇒１１ページ

ＣＤプレーヤー部

症状	確認
ＣＤトレイが開かない	●電源/セレクターが「ＣＤ/ＵＳＢ/ＳＤ」になっていますか？⇒１２ページ
ＣＤが認識されない“ＮＯ ＤＩＳＣ”と表示される	●モード選択がＣＤになっていますか？⇒１２ページ ●ＣＤ/レンズが汚れていませんか？クリーニングしてください。 ●音楽ＣＤや音楽ファイルの入ったＣＤ以外を挿入していませんか？⇒１２ページ
ＣＤ再生時音がとぶ	●本体設置場所が不安定な場所になっていませんか？⇒１０ページ ●ＣＤ/レンズが汚れていませんか？クリーニングしてください。
データＣＤで一部ファイルが正常に認識、再生されない	●音楽ファイルのビットレート、ファイル形式は適切ですか？⇒１８ページ

ＵＳＢメモリ/ＳＤカード部

症状	確認
ＵＳＢメモリ等差している状態で″ＮＯ ＵＳＢ″等表示される場合	●ＵＳＢメモリ等しっかり接続されていますか？⇒１７ページ ●電源/セレクターは適切ですか？⇒１７ページ
一部ファイルが正常に認識、再生されない	●音楽ファイルのビットレート、ファイル形式は適切ですか？⇒１８ページ

レコードプレーヤー部

症状	確認
アームを近づけてもレコードが回転しない	●電源/セレクターは、″ＰＨＯＮＯ″になっていますか？⇒２３ページ
電源/セレクターを″ＰＨＯＮＯ″にしたら、ターンテーブルが勝手に回りだした	●レコード自動停止スイッチが″ＯＦＦ″になっていませんか？⇒２３ページ
レコードの回転が速い（遅い）	●レコード回転数切替スイッチは適切ですか？⇒２３ページ

困った時は

レコードプレーヤー部

ターンテーブルの回転が水平でない	●本体の設置場所が不安定な場所になっていませんか？⇒１０ページ ●ディスクスタビライザーを使用してください。⇒２３ページ

ラジオ部

ＦＭ放送でノイズが多い	●選局がずれていませんか？　⇒２５ページ ●アンテナの設置場所を変更してみてください。⇒２５ページ ●ＦＭモノラルで御利用いただきますとノイズが軽減されます。⇒２５ページ

録音時

録音ができない	●録音先機器が正常に接続、認識されていますか？⇒２７ページ ●ＣＤ/レコードの再生準備はできていますか？　⇒１２/２３ページ ●モードの選択は適切ですか？ ⇒２７/３０ページ
録音時の音質を良くしたい	●録音音質の設定を変更してください。　⇒２６/２９ページ
録音しようとしたら″ＦＵＬＬ″と表示され録音できない	●不要なデータをコンピューター機器または本機で削除して空き容量を確保するか空き容量が十分な別のＵＳＢ機器あるいはＳＤカードをご使用ください。　⇒２７ページ
録音開始した指定曲が録音されていない	●不要なデータをコンピューター機器または本機で削除して空き容量を確保するか空き容量が十分な別のＵＳＢ機器あるいはＳＤカードをご使用ください。　⇒２７ページ
レコードの再生が終わっても録音が終了しない	●″ＲＥＣボタン″を押して終了してください。　⇒３０ページ

ファイルコピー時

コピーができない	●コピー先、コピー元機器の準備はできていますか？⇒３１/３２ページ ●コピー先機器の空き容量が不足していませんか？　⇒３１/３２ページ
コピーした曲が途中で切れている	●コピー先機器の空き容量が不足していませんか？　⇒３１/３２ページ

消耗品

レコード針の購入方法	●レコード針の交換に関しては弊社に直接ご連絡の上、ご購入ください。
リモコンの電池がなくなった場合	●新しい電池に交換してください。　⇒１１ページ

アフターサービス

サポートセンターのご案内

本製品が正常に動作しなくなった場合は、現象、ご使用の環境等の詳細をお書きの上、無償修理対象になる場合には保証書とともに本製品を弊社サポートセンターまでお送りください。直接弊社にお持ち込みになられる場合も、必ず保証書をご持参くださいますよう宜しくお願い致します。

送付される際は、輸送時の破損を防ぐため、厳重に梱包し、紛失等のトラブルを避けるため、宅急便または書留郵便小包でお送りください。
保証期間内の修理・交換に関しては無料ですが、発送時の費用のみお客様の負担となりますので予めご了承ください。尚保証期間を過ぎますと、全てお客様負担とさせて頂きます。製品到着後、修理もしくは交換品の手配が整い次第、返送させて頂きます。
また、修理作業時に、お客様で本体及び付属品の外観加工(ペイント、シール貼付等)された物の損傷に関して当社では一切の責務を負いません。
当社で修理での保証が不可能と判断した場合、交換での保証になります。その際、本体及び付属品の外観加工されたものについて、ご返却致しかねますのでご注意ください。

◆送付して頂くもの
- 本製品
- 本製品付属品
- 保証書（保証書に購入店、購入店印、購入日の記載がない場合は無効です。）

送付先住所

〒 530-0047
大阪市北区西天満４丁目１０－３
植田ビル２号館６Ｆ

ガイズ㈱　サポートセンター　宛
電話：0570-081-512

◆ユーザー登録のご案内
弊社では、ユーザー登録されたお客様に対して、ユーザーサポートやバージョンアップのご案内など、各種サービスを提供させて頂きます。同梱されている「ユーザー登録ハガキ」に必要事項を記載の上、ご登録手続きをしてください。なお、弊社ホームページからもユーザー登録ができます。

http://www.gais.co.jp

◆サポートセンターのご案内

本製品の操作上の疑問や不明点もしくは動作の不具合などは、弊社ユーザーサポートまでお問い合わせください。
また、インターネットをご利用できる方は、弊社ホームページで製品発売後に発見された不具合やその対策などの最新情報を公開しておりますので併せてご参照ください。

ガイズサポートセンター
ナビダイヤル：0570-081-512

ＰＨＳ・列車内公衆電話からは下記番号へおかけください。
電話：06-6314-2605

E-mail：support@gais.co.jp

ホームページ：
http://www.gais.co.jp

電話対応時間：月曜日～金曜日
（土日祝祭日を除く）9:30～17:30まで

- E-Mailでのお問い合わせの際には、ご連絡先や質問事項、お使いの環境などをできるだけ詳しく記載してください。
- トラブルの状況によっては、調査のためお時間を頂戴することがあります。予めご了承ください。
- Windowsの使用方法やパソコン固有の問題については、各製品のサポートセンターへお問い合わせください。
- 弊社で動作保証している機器以外の組み合わせでご利用になられた場合の不具合に関しては、弊社ではサポート致しかねます。
- お問い合わせいただいた順に回答させて頂きますが、内容により前後する場合があります。

アフターサービス

ハードウェア保証規定

本取扱説明書の注意書きおよび付属の説明書に従った使用状況で、本製品が保証期間内に故障した場合、下記の保証規定の範囲内で無償修理をさせて頂きます。

以下は、ハードウェアに関する保証規定を記載しています。

注意
この保証は、本製品のハードウェアに関するものです。プログラム、データの使用、あるいは誤使用による損害、または損失についての責任はご容赦ください。

1. 保証対象

本保証は、保証書記載の保証期間中（お買い上げ日当日より起算して1年間）、本製品の本体のみを保証対象とするものです。ボタン電池などの付属品は消耗品扱いとなり、保証対象外とさせて頂きます。

2. 保証の内容

(1) 製品が取扱説明書の通常の使用方法により保証期間中に正常に動作しなくなった場合は、弊社にて検証をおこなった後、無料での修理または同等製品との交換を致します。
修理のため交換した故障品などの返却は致しかねますのでご了承ください。なおデータの消失等については、一切保証致しかねます。

(2) 以下のような場合には無料での修理、または交換は致しかねます。
1) 弊社製品と判断できない場合。
2) 保証書の提示がない場合。
3) 保証書の所定事項（お名前、ご住所、販売店等）の未記入、または字句を書き換えられた場合。
4) 本製品の自然消耗に起因する故障または損傷。
5) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、煙害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下など、お取り扱いが不適当なため生じた故障または損傷。（使用中に製品を落とすなどして破損したものについても保証対象外とさせて頂きます。）
7) ご使用時の不備あるいは接続している他の機器によって生じた故障または損傷。
8) 取扱説明書の記載内容に反する取り扱いによって生じた故障または損傷。
9) 弊社以外で改造、調整、部品交換が行われている場合。
10) 消耗品の交換。
11) 本製品の外装、および内部部品が破損している場合。
12) 中古にて購入又は譲渡を受けた場合。
13) その他、修理もしくは交換を認めがたい行為が発見された場合。

3. 保証対象外の有償修理または交換

(1) 保証期間経過後、または上記2項（2）の各項目のいずれかに該当する修理または交換の申し出については、弊社の判断で有償での修理、または同等製品との交換を行います。修理のため返却された故障品などは返却致しかねますのでご了承ください。

(2) 次のような場合には、有償・無償にかかわらず、修理、または交換は致しかねます。この場合には修理、交換はお受けせず、送付された製品を返却させて頂く場合がございます。
1) 弊社製品と判断できない場合。
2) 損傷が著しい場合。
3) 弊社以外で著しい改造、調整、部品交換が行われている場合。
4) その他交換を認めがたい行為が発見された場合。
5) 本製品の経年劣化で生じる不具合に伴う損害については、弊社は責任を負いかねますので、予めご了承ください。

■保証期間経過後の修理について

この保証規定は、規定内で明示した期間・条件のもとにおいて無償での修理又は交換をお約束するものです。したがって、保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理・サポートについてご不明な場合には、弊社ユーザーサポートまでお問い合わせください。

本保証規定は日本国内においてのみ有効です。

仕様

再生可能メディア	アナログレコード 音楽CD(CD-DAタイプ)、 データCD（MP3、WMAファイル） USBメモリ(デジタルオーディオプレーヤー内MP3、WMAファイル) SDカード（MP3、WMAファイル）
再生可能デジタルオーディオファイル	MP3、WMA　（99フォルダ、999トラック対応）DRM付WMA非対応
リピートプレイ	音楽CD：1曲リピート、全曲リピート、イントロ、ランダム デジタルオーディオ：１曲リピート、全曲リピート、イントロ、ランダム、フォルダリピート
録音速度	等倍速
録音先	USB1.1/2.0マスストレージクラス対応のUSBメモリ（別売り） USB1.1/2.0マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー（別売り） SDカード(miniSDカードはアダプタが必要)（別売り）
録音形式	MP3形式(32kbps、64kbps、96kbps、128kbps、192kbps、256kbps)
録音方法	音楽CD全曲録音、音楽CD1曲録音 レコード録音(録音開始→停止まで連続録音)
レコード部	駆動方式：ベルトドライブ 回転数：33、45、78回転 ワウフラッター：0.35%以下 カードリッジ：圧電型 適正針圧5±1g
ラジオ部	FMチューナー(76MHz－108.0MHｚ）　※TV１～3Ch受信対応 AMチューナー(522.0MHz-1620.0MHz) アンテナ：ケーブルアンテナ(付属)
接続インターフェース	USBスロット(TypeA)、SDカードスロット
出力デバイス	3.5mmステレオミニジャック(ヘッドフォン出力用) RCAピンジャック（外部出力用）
電源	AC100V（50-60Hz）
LCD表示言語	半角英数字
消費電力	スタンバイ時 - 4.0W　CD再生時 - 12.0W　レコード再生時 - 10.0W CDエンコード時 - 12.2W　レコードエンコード時 - 10.2W
アンプ	2W×2
スピーカー	4Ω5W
実用最大出力	2W×2
総重量(本体+スピーカー)	5.0kg
寸法	本体　275mm×316mm×170mm スピーカー　130mm×115mm×195mm